

※本講座はSBLの皆さんが企画員となり運営しています。

学びのまち・仙台 市民カレッジ

防災・減災講座

“もしも”が気になるあなたへ 行動につながる防災を学ぶ

参加
無料

手話・託児
あり(要申込)

【共通】時間：14:00～16:00 会場：生涯学習支援センター

第1回 8/22(土)

「仙台で起きやすい気象災害 -大雨・猛暑・雪から命と暮らしを守る-」

一般社団法人 日本気象予報士会 東北支部 副支部長

岩渕 巧氏

第2回 8/29(土)

「東日本大震災東日本大震災から15年-現在の地震津波リスクと防災の取組」

東北大学副学長・災害科学国際研究所 教授

今村 文彦氏

第3回 9/12(土)

「災害医療の基礎知識 -DMATってなんですか?-」

東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 准教授

佐々木 宏之氏

第4回 9/26(土)

「子ども中心の防災とは：自然災害後の教育再開と学校避難所について考える」

神戸大学大学院国際協力研究科 兼 東北大学災害科学国際研究所 教授

桜井 愛子氏

第5回 10/31(土)

「伝える責任、受け継ぐ使命 -教育現場から始まった震災の語り部活動」

気仙沼市立 階上中学校・鹿折中学校 元校長

菅原 定志氏

【申込・お問合せ】生涯学習支援センター 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8

Tel. 022-292-4875 FAX.022-295-0810

第2回講師 今村 文彦先生(東北大学副学長・災害科学国際研究所教授)

からのメッセージ

東日本大震災から15年が経ち、当時の振り返りや経験・教訓の伝承活動が行われました。その中、東北や北海道では地震や津波が相次いで発生し、後発地震注意情報などが発表され、備えの重要性が叫ばれました。また、各地での風水害も深刻化し、一方で大規模な山林火災などが発生、気候変動の影響が表れています。将来に、被害を繰り返さないためには、当時の経験や教訓を今一度思い起こし、得られた知見を学び、変動する将来への災害に備える必要があります。自然災害は繰り返し発生しますが、最近はその前に姿を変えて起こり大きな影響や被害を出しています。

今回の講座は、自然災害の知識、防災教育や災害医療の取り組みについて様々な分野の専門家に講義を頂く予定です。体系的に防災を学ぶことができる貴重な機会になりますので、今まで知らなかったこと、気づいていなかったことに出会うことでしょう。今回も市民の皆様が自ら企画した『防災・減災講座』になりますので、是非ご参加下さい。

対 象： 防災・減災に興味のある方 どなたでも（60人抽選）

申 込： 往復はがき、FAX(講座名・住所・氏名・電話番号を記載)
生涯学習支援センターHP、左の2次元コードより申込可。



申込〆切8月8日

- その他**
- ・ 1回のお申込みで全5回受講できます。
 - ・ 全5回受講することで防災、減災への学びを深めることができる構成となっています。

申込・問合せ

生涯学習支援センター

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8

電話：022-292-4875

FAX：022-295-0810